

第 5 問題

(1)	ア	Y (2点)	イ	$(R_{n-1}) P$ (2点)
	ウ	$R_{n-1} + I - X$ または $(I - P) R_{n-1} - X$ (2点)	エ	$X - I_n$ または $R_{n-1} - R_n$ (2点)
(2)	$167,517$ (3点)			

第 6 問題

(1)	ア	(A) (2点)	イ	(E) (2点)	ウ	(F) (2点)	エ	(O) (2点)
(2)	C (2点)							

第 7 問題

(1)	C (2点)					
(2)	①	F (2点)	②	A (2点)	③	D (2点)
(3)	帰無仮説を「この状況は異常では無い、すなわち標本平均と母平均に差がない」とする。 $ Z = \frac{200 - 198}{\frac{3.16}{\sqrt{10}}} = \frac{2}{1} = 2 > 1.960$ (両側検定のため 5% 有意水準の臨界値は 1.960) したがって、帰無仮説は棄却され何らかの異常が起こっていたと言える。 (3点)					